学校だより　第2号

加曽利中

千葉市立加曽利中学校
平成３１年４月２６日

情報を見極める力を

教　　頭

生徒を取り巻く環境の中で、ありとあらゆる情報が存在しています。テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などがこれまであったものですが、近年インターネットが普及しネットから入る情報、また、携帯電話やスマートフォンを利用したＳＮＳ、メールなどもそれらにあたります。これらの情報を正しく見極める力を身に付けさせるために、下記は先日あるテレビで取り上げられた話題です。

さて唐突ですが。ご家庭では「テレビの見方」を教えたことがありますか。様々なメディアから情報があふれる今日、これは「ご飯の食べ方」や「道の歩き方」を教えるのと同じように、子ども達に教えなければならないことです。中でもマスメディアからの「情報の受け取り方」は情報に踊らされないためにも、大人にとっても必要なことです。

ご家庭でできることとして、テレビを見ながら子どもに次の４点を問いかけてください。一つ目は、「実際に起きたこと？　それとも感じたこと？」です。キャスターの話す内容が事実なのか、それともその人が感じた印象なのかを見極めたいものです。二つ目に、「他の見方がないか」ということです。例えば、人里に熊が出たというニュースがあったとします。これは違う視点から見ると、もともと熊がいた山を人間が切り開いて人が住んでいるのだから、熊の里に人が出たとも言えます。三つ目に「何が隠れているのか」です。ニュースはある事象にしかスポットが当たりませんから、その裏に隠されていることにも目を向けることが大切です。最後に、「でもまだわからないよね」ということで、結論を即断しないことです。

このように、情報化社会である現代において、メディアからの情報を正しく受け取るということは、衣・食・住に匹敵する重要事項だと思います。

こんな学校に！

生徒会長

皆さん、こんにちは。さて、だんだんと暑さも感じられる時期になってきましたが、皆さんは進級や入学した新たな環境でどのように過ごしていますか。一つの大きな節目でもあるこの時期に気持ちを切り替え、何かを頑張ろうとしている人も多いのではないでしょうか。そこで僕から皆さんに是非頑張ってほしいことが一つあります。それは、委員会活動です。二、三年生の皆さんには一度お話しましたが、僕には「加曽利中の委員会活動を活発にする」という目標があります。「活発にする」と言ってもそんなに難しいことではありません。例えば、生活委員であれば、挨拶運動や服装点検をしっかり行う。そんな基本的な活動を委員のメンバー全員がしっかり行えば、加曽利中の雰囲気はもっと良くなると思います。

最後になりますが、この目標は一人一人の意識が大切です。僕も全力を尽くすので、皆さんも一緒に頑張っていきましょう。

初心に戻って

生徒会副会長

生徒会の仕事も前半が終わり振り返ってみると、目標を成し得ていない事に気づき、もう一度初心を思い出してみました。「宝石の国」という漫画に出てくるパパラチアと言う宝石が、「冷静に、慎重にな」と言うシーンがあり、今の自分にこのクールな考えが、後半の副会長としての仕事に遂行力を与えてくれる気がしています。あと約5ヶ月ですが、目標を定め、規律・責任・他者への尊敬や思いやりの気持ちを持って、会長をはじめとする生徒会メンバーを支え、より良い加曽利中学校を作りあげて行ければと思っています。

今年度の目標

生徒会副会長

こんにちは。僕は、今年度よりよい生徒会活動をするために 2 つ目標を立てました。１つ目は、生徒会本部7人の中で自分が1番出来ることを探すことです。それには理由があり、何故かというと生徒会 7 人全員色々な事に自信をもっていれば、素晴らしい生徒会になると思ったからです。2つ目は、会長の委員会活動を活発にするという目標をサポートすることです。会長一人では、あと半年で委員会活動を活発にすることは難しいと思うからです。しかし、生徒会全員でやれば難しいことではないと思います。なので、僕は全力でサポートしていきたいです。1年目でまだまだ、わからない事もありますが、僕は先輩方の良い所を盗んで自分の物にしていきたいです。そして、後輩として４人の先輩方にこの7人で良かったと思うような生徒会を創っていきたいと思っています。

残りの半年間、よろしくお願いします。

保護者・生徒の皆様へのお願い

間もなく、10連休に入ります。以下の点に気を付けて、有意義なゴールデンウィークを過ごして欲しいと思います。是非、ご家庭のご協力をお願いいたします。

１．「命」に関わる事故防止……交通事故、水難事故など

① 交通事故・自転車の事故防止。（信号無視、無灯火、飛び出し、二人乗りなど）

② 自分の身に危険を感じたら、周りの大人に助けを求めること。

※ いざというときは、こども１１０番の店に駆け込むこと。

※ 事件、事故にあったらすぐに警察と学校に連絡をすること。

③ 危険な箇所（特に学校周辺のマンション工事現場、川の周辺、海岸の進入禁止区域）には立ち寄らないこと。

④ 習い事などで遅くなった場合、必ず家の人と連絡を取り、できるだけ人通りの多い場所を選んで帰ること。

２．「心」に関わる事故防止…ゆすり、たかり、暴力事件など

① 外出時には、服装に注意し、家族には「いつ・どこへ・誰と・何しに・いつ帰るか」を必ず知らせること。また、必要以上のお金を持たないこと。

② 無断外泊、夜遊びはしないこと。（特別な用がないときは、６時までに帰宅する。）

③ 悪いことを断る勇気をもつこと。一人一人がしっかりとしたモラルをもった行動をとること。（喫煙や飲酒、万引きなど触法行為をしない。）

④ スマートフォンやインターネットを利用する際は、マナーやモラルに十分気をつけること。

（生徒指導主任）